



パトリシア・ボラッコ/作・絵
香咲 弥須子/訳
岩崎書店
2001年 ¥1500

ありがとう、フォルカーせんせい

先生との出会いで人生が変わった女の子の物語です。学習障がいを持つ女の子と先生の実話。親子でゆっくりじっくり読んでもらったら、今までの考えが少し変わるかも…。



矢玉 四郎/作・絵
岩崎書店
1980年 ¥1100

はれときどきぶた

あしたは「はれ、ときどきぶたがふるでしょう」。則安君が書いたでたらめの日記でしたが、本当にぶたが！「おもしろ〜い」とわらいながら読める本。

ほしになったりゅうのきば

若者サンと、クマ王の三番目の娘白ひめが、力を合わせて、りゅうのついで破れた天のさけめをつくろっていくロマンあふれる話。夏の夜空の星や天の川を見ながら読んでみて！



君島 久子/再話
赤羽 末吉/画
福音館書店
1976年 ¥1300

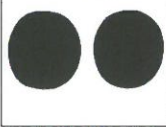
11ぴきのねこ

おなかぺこぺこのネコたちが力を合わせ、失敗してもあきらめない。そしてついに、大きな魚を手に入れる。ときどきの本です。



馬場 のぼる/著
こぐま社
1967年 ¥1200

はなのあなのはなし



やぎゅう げんいちろう/さく
福音館書店
1982年 ¥900

はなのあなのはなし

はなのあなってどうなっているの？子供の空想力をぐんぐん伸ばしてくれそうな絵本。自分の体のつくりについて学ぶことができる。



2019年3月発行
大洲市立図書館

げんざいこうにゆう ほん しゅつぽんねん
現在購入できる版の出版年
掲載しています。
かかく ねん がつげんざい ほんたい
価格は2019年2月現在の本体
価格です。

けいさい じゅつぽんしや きんぎょく
掲載については出版社の許諾を
得ています。
むだん てんさい きん
無断で転載することを禁じます。

子供とともに 本をひらこう 未来のページ
(『第2次大洲市子供読書活動推進計画』より)

ボランティア
おすすめ

うちどく 絵本リスト

小学校
中学年版



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。

「うちどく」で家族のきずなを 深めましょう！

毎月第3日曜日は“うちどくの日”

●うちどくをはじめると、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。そこで、市内の学校や施設で読み聞かせ活動をされているボランティアのみなさんに、家族で読んでほしい本を、絵本を中心におすすめしてもらいました。

おならまんざい

おならとコンビを組んでまんざいをするに！次々と出てくるおならのダジャレが笑えます。二人で読んで、まんざいをしている気分を味わってもいいですね。



長谷川 義史/作
小学館
2017年 ¥1300

あいつとぼく



辻村 ノリアキ/作
羽尻 利門/絵
PHP 研究所
2015年 ¥1300

せいかく ちが
性格の違う二人の男の子。好きなこともできることも違うから、接点もなければ気も合わない。そんな二人が、二人三脚のパートナーになって…。二人の微妙な距離感を描いたさわやかな絵本です。



鈴木 のりたけ/作
ブロンズ新社
2015年 ¥980

たべもんど

食べ物たちからのクイズが次々に。早口ことばや回文、ダジャレに隠し絵まで。小さい本ですが家族そろって楽しめます。ぜひみんなで挑戦してみてください！



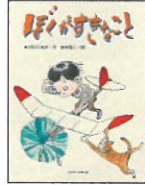
もとした いつみ/作
竹内 通雅/絵
ひかりのくに
2014年 ¥1280

じごくのさたもうでしだい

同じ日に生まれた幼なじみの3人が、これまた同じ日にぼっくり死んでしまった。3人の行きついたところは、なんと地獄。果たして3人はどうなってしまうのか!?

ぼくがすきなこと

ぼくのまわりには、おもしろいことがいっぱい。身の周りの何気ないことだけど、大人はしてみたことのある経験が懐かしく、子供達には未だしたことのない経験！ぜひ家族で共感してほしい絵本です。ページのすみの「パラパラ猫」も楽しめます。



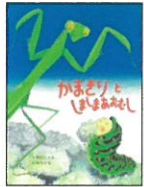
中川 ひろたか/文
山村 浩二/絵
ハッピーオウル社
2015年 ¥1300

マッチ箱日記

まるで絵画のような写真のような絵。ひいおじいちゃんが話す子供の頃の話。もし自分が、思い出、記憶を残すためにするとしたら…どうする？ひいおじいちゃんの子供の頃の時代背景を大人も一緒に考えて、調べてほしい一冊です。



ポール・フライシュマン/文
バグラム・イバトゥーリン/絵
島 式子, 島 玲子/訳
BL出版
2013年 ¥1600



澤口 たまみ/文
降矢 なな/絵
農山漁村文化協会
2014年 ¥1300

かまきりとしましまあおむし

かまきりがいるニンジンの花に、無邪気な10匹のしましまあおむしがやってきます。さて、あおむしは、どうなるのでしょうか。色鮮やかでリアルな絵にひきつけられます。

しげちゃん



室井 滋/作
長谷川 義史/絵
金の星社
2011年 ¥1300

「わたし、じぶんの名前、キライ！」男の子みたいな名前でいやな思いをしているしげちゃん。でもお母さんから名前に込められた意味を聞いて…。みなさんも自分の名前に込められた大切な想いを、おうちの人に聞いてみましょう。

ぼく、あめふりお

てるてる坊主なのに、お前のせいで雨が降る！といわれて、お日様に会おうと出ていく「ふりお」。でも途中で女の子に出会って…。雨の日が好きになる絵本。



大森 裕子/作
教育画劇
2007年 ¥1000

ぼくのかわいくないもうと

ぼくには、かわいくない妹がいる。すごいおしゃべりですごいでしゃべり！ある日ぼくからうつつって妹もおたふくかぜに…。現実味があって、温かさがあって、ユーモアたっぷりのお話です。



浜田 桂子/作
ポプラ社
2005年 ¥1200



後藤 竜二/作
武田 美穂/絵
ポプラ社
2006年 ¥1100

おかあさん、げんきですか。

「おもいきって、いいたいことをかきます。」お母さんへの言い分がいっぱいになった母の日の手紙。でも愛情もたくさんつまっています。ぜひ、親子で読んでほしい絵本です。



いもと ようこ/文・絵
岡本 一郎/原案
ひかりのくに
2004年 ¥1200

ワニーさんの おまけつきレストラン

ワニーさんのレストランでは、日替わりメニューすべてにおまけがついてきます。どんなおまけがつくのか楽しみな絵本です。

山のタンタラばあさん

タンタラばあさんの小さな魔法が、山の動物たちを温かい気持ちにしていける。優しい文章と、温かい絵に心癒される。



安房 直子/作
出久根 育/絵
小学館
2006年 ¥1600

ゆらゆらばしのうえて

追うキツネと追われるウサギが、一本の丸木橋の上で身動き取れない状態に。敵同士2匹が、お互いがいないと助からない状況の中で芽生えるのは…。はたこうしろさんの絵が、ハラハラドキドキ感にピッタリ。



きむら ゆういち/文
はた こうしろう/絵
福音館書店
2003年 ¥1200